

第7回

川崎市地域文化財 ガイドブック

令和7(2025)年3月



川崎市文化財保護推進キャラクター シッシー君

川崎市地域文化財顕彰制度は、地域に根ざした豊富な文化財を幅広く顕彰・記録することで、地域で守られ、伝えられてきた文化財に光をあて、多くの人々にその価値を伝えていくことを目指しています。

編集	川崎市教育委員会事務局文化財課
住所	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
電話	044-200-3305
FAX	044-200-3756
メール	88bunka@city.kawasaki.jp
地域文化財顕彰制度ウェブページ	▶▶▶▶▶



令和6年度に決定した第7回地域文化財を紹介します！

地域文化財の種別と内容

種 別	内 容
有形文化財	建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料 ※川崎市の歴史と関係のない美術品などは、原則として対象になりません。
無形文化財	演劇、音楽、工芸技術
有形民俗文化財	無形民俗文化財に用いられる衣服、器具、家屋などの物件で、市民生活の推移の理解に役立つもの
無形民俗文化財	衣食住、生業、信仰、年中行事などに関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術などで市民生活の推移の理解に役立つもの
記念物	①遺跡関係……古墳、社寺跡、城跡、旧宅その他の遺跡 ②名勝地関係…庭園、林叢、井泉、丘陵その他の名勝地 ③動植物及び地質、鉱物など
文化的景観	地域における人々の生活又は生業、地域の風土により形成された景観地で地域の生活又は生業の理解に役立つもの
伝統的建造物群	周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群
文化財保存技術	市内の文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術又は技能

■公開情報の見かた

- A 屋外にあり、常時見学可能です。
- B 博物館施設などに所在し、施設開館時に見学が可能です。
- C 見学を希望する場合は、文化財課にお問い合わせください（公開時期や公開できる範囲などが限定されています）。
- D 見学不可（学術研究などのため見学を希望する場合は、文化財課にお問い合わせください）。

※個人の敷地内にあるもの、「C」「D」の地域文化財の「所在地／主な活動場所」は番地の記載を省略しています（公共施設以外）。

第7回決定分

1



いしかんのん れいき いし
石観音の霊亀石

漁師が海底から引揚げられない石を、現れた何匹もの亀が手伝い、引揚げることができた。この石を漁師が手水石にして享保18年に石観音堂に納めたとされる。観音の霊力により亀が現れたので、霊亀石と名付けたという。

住 川崎区観音 2-16-3 潮音殿石観音堂
公開情報 A 種別 有形民俗文化財

2



いしかんのん じゅうまんにんこう く ようとう
石観音の十万人講供養塔

宝暦9（1759）年の石観音の開帳に際して結成された十万人講を記念する供養塔。山形角柱の石碑で、各面には講結成に賛同した人や、参加を勧めた人の名が細字で刻まれている。

住 川崎区観音 2-16-3 潮音殿石観音堂
公開情報 A 種別 有形民俗文化財

3



せんぞう じ せきぞうだい にちによらい ざう
千蔵寺の石造大日如来坐像

かつて京急大師線東門前駅付近にあった大日塚に祀られていた石造の大日如来坐像。大正年間に塚が取り払われ、千蔵寺の境内に移された。市石造物調査により、市内に8例ある石造大日如来のうち最古とされている。

住 川崎区中瀬 3-20-2 千蔵寺
公開情報 A 種別 有形民俗文化財

4



了延庵の庚申塔

享保6（1721）年7月に大島村の講中9人によって造立されたもので、現在も講中の子孫によって大切に守られている。

住 川崎区大島4-23-7 了延庵

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

5



中島八幡神社の庚申塔

日月、六臂の青面金剛像、三猿を刻む駒角柱型の庚申塔で元禄10（1697）年の建立。中島八幡神社の境内入口の祠内に祀られ、いまなお、地域で大切に守られている。

住 川崎区中島2-15-1 中島八幡神社

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

6



中島延命地藏尊の石造阿弥陀如来像

蓮座に立ち、右手を前に、左手は下にさげて来迎印を結ぶ。寛文7（1667）年に念仏講によって造立されたもの。市域最古の石造阿弥陀如来像である。

住 川崎区中島1-13-9 中島延命地藏尊

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

7



安楽寺半鐘

下小田中村、平間村（安楽寺の子院が存在）の念仏信者、下小田中村の巳待講等が施主となり、寛延4（1751）年に安楽寺に奉納されたことが銘文からわかる。戦後は地域の消防団で火の見やぐらの半鐘として使われていた。

住 中原区下小田中2-36-1 安楽寺

公開情報 C 種別 有形文化財（工芸）

8



下小田中安楽寺周辺の念仏講用具

中原区下小田中地区の上東・下東・西村（現在の下小田中2・3丁目あたり）で平成中頃まで行われていた念仏講の用具。戒名や寄附者名が刻まれた大数珠（おおじゆず）のほか、伏鉦（ふせがね）、撞木（しゅもく）からなる。

住 中原区下小田中2-36-1 安楽寺

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

9



西明寺の弘法大師供養塔

西明寺参道入口に建つ、高さ3mの石塔。正面には、力強い文字で「大師遍照金剛」と刻まれており、塔上に智拳印を結ぶ大日如来坐像を戴く。四国八十八処巡礼を終えた人々が、先祖供養と、子孫の幸せを願って建てた。

住 中原区小杉御殿町1-906 西明寺

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

10



西明寺の木食観正碑

遊行僧の木食観正に結縁した人々によって文政元（1818）年に建てられた。碑には、小杉村、新作村、奥沢村など市域内外近隣の村人、江戸城の関係者、川崎宿の漢学者など、様々な人の名が刻まれている。

住 中原区小杉御殿町1-906 西明寺

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

11



龍臺寺本堂

寄棟造、元は茅葺。小規模な住宅風仏堂で、内部は広々とした空間を形成する。虹梁等の部材に描かれた文様は流麗で力動感があり、18世紀中頃の様式。来迎柱の墨書により明和6（1769）年の建築であることがわかる。

住 高津区久本2-12-23 龍臺寺

公開情報 A 種別 有形文化財（建造物）

12



能満寺木造釈迦涅槃像

涅槃像は釈迦が入滅する重要な場面を仏像彫刻として表したものだ。木造涅槃像は県下でも作例が少なく貴重である。本像は秀作であり、製作が中世までさかのぼる可能性もある。

住 高津区千年354 能満寺

公開情報 C 種別 有形文化財（彫刻）

13



龍臺寺の石灯籠

江戸時代前期に久本村を知行していた旗本の長坂信俊が、慶安2（1649）年に村の鎮守正八幡宮に奉納し、同宮別当の龍臺寺に移された。銘文からこの時代にも荘園制の名残で「庄」や「郷」が使われたことがわかる。

住 高津区久本2-12-23 龍臺寺

公開情報 A 種別 有形文化財（歴史資料）

14



細王舎製足踏み脱穀機 新明王号

高津区末長地区で使用されていた細王舎製の足踏み脱穀機。細王舎は養蚕道具の製作所としてスタートした農機具メーカーで、現在の麻生区高石に工場を構えていた。明王印は現在の台東区にあった細王舎第2工場のブランド。

住 高津区末長811 杉山神社資料館

公開情報 B 種別 有形民俗文化財

15



橘消防組第四部の消防ポンプ車及び装備類

橘消防組第四部は、橘村末長地区の20才以上の男子45名で組織され、火災などの災害時に出動した。消防ポンプ車、絡車、ホース、半鐘などの装備が保管されている。

住 高津区末長811 杉山神社資料館

公開情報 B 種別 有形民俗文化財

16



ようごう じ もくごうしゅうおう ざう
影向寺木造十王坐像

冥界で死者の罪業を裁く閻魔王ほか十人の王の像。文化3（1806）年と嘉永3（1850）年の再興銘のほか、明治11（1878）年の修理銘がある。十王一体一の表現を変え、丁寧に仕上げている。

住 宮前区野川本町3-4-4 影向寺
公開情報 C 種別 有形文化財（彫刻）

17



ようごう じ もくごうめいかいしやう
影向寺木造冥界諸像

十王の眷属の像。奪衣婆（だつえば）は三途の川で死者の衣を脱がせ、衣で罪の重さを計る。俱生神（くしょうじん）は在世中の行いを裁判で読み上げる。鬼卒（きそつ）は冥界で亡者を呵責する。江戸時代後期の製作。

住 宮前区野川本町3-4-4 影向寺
公開情報 C 種別 有形文化財（彫刻）

18



みやぎき りくぐんぐんよう ち きやうかいりよう
宮崎の陸軍軍用地境界標

昭和17（1942）年に東京赤坂から移転した、陸軍東京管区近衛兵歩兵第一補充隊第101連隊（通称東部62部隊）の軍用地境界を示す石標。宮前区馬絹と宮崎の境界に所在。

住 宮前区宮崎1丁目
公開情報 A 種別 有形文化財（歴史資料）

19



まぎぬ はなく けうとう
馬絹の花供養塔

馬絹地区では、東京や横浜に近い地の利を生かし、花桃など花卉の栽培が盛んに行われてきた。大正10年設立の馬絹花卉生産組合が、花に感謝し慰霊する花供養塔を昭和38年に建立した。現在でも毎年供養祭が行われている。

住 宮前区馬絹2-9-1 泉福寺
公開情報 A 種別 有形文化財（歴史資料）

20



せんぶく じ ちやうずいし
泉福寺の手水石

泉福寺は、江戸末期に、泥中から見つかったという薬師如来の霊験でにぎわい、その様子は市指定文化財「板面着色絵馬泉福寺薬師会図」に描かれている。参詣者のため地元の若者中が嘉永7（1854）年に奉納した。

住 宮前区馬絹2-9-1 泉福寺
公開情報 A 種別 有形民俗文化財

21



みやうらく じしやう ごと
妙楽寺鉦鼓

上縁ニヶ所に魚型の耳環を付け、紐で鉦架に懸けて打ち鳴らす仏具。底縁部の銘文から、この鉦鼓が元禄7（1694）年に念佛講中によって奉納され、作者が長谷川伊勢守という鋳物師であることがわかる。

住 多摩区長尾3-9-3 妙楽寺
公開情報 C 種別 有形文化財（工芸）

22



ね の かみはし きやうめいばん
子之神橋の橋名板

平成30（2018）年にかけ替えられた菅北浦の三沢川にかかる子之神橋の旧橋名板。昭和34（1959）年に木橋からコンクリート橋にかけ替えられた旧橋に取り付けられていた。近くの玉林寺の柏道和尚の筆による。

住 多摩区菅馬場2-20-1 玉林寺
公開情報 C 種別 有形文化財（歴史資料）

23



し ら い せんせいしやうとくひ
志良以先生頌徳碑

神奈川県内で長く教鞭をとった志良以桂平は、大正2（1913）年に向丘村に私立静修塾を設立、教育に尽くした。静修塾門下生らによってその徳を讃えるために昭和6（1931）年に建碑された頌徳碑。

住 多摩区長尾3-9-3 妙楽寺
公開情報 A 種別 有形文化財（歴史資料）

24



ぎよくりん じ せきどう
玉林寺の石幢

玉林寺観音堂前に安置されている石幢で、六角柱の各面に地藏菩薩を一体ずつ浮彫している。銘文から天保15（1844）年に造立されたことがわかる。

住 多摩区菅馬場2-20-1 玉林寺
公開情報 A 種別 有形民俗文化財

川崎市地域文化財一覧

（第1回63件、第2回68件、第3回28件、第4回31件、第5回23件、第6回27件、第7回24件 計264件）

区	件名	回	区	件名	回	区	件名	回	区	件名	回
川崎区	大師稻荷神社本殿及び拝殿	5	川崎区	大島八幡神社新田開発の碑	5	川崎区	泉田二君功德碑	6	川崎区	川中島囃子	1
	若宮八幡宮境内の石橋	5		大島八幡神社温故知新の碑	5		御神水吹上げ井戸石杵	6		中島八幡神社囃子	1
	子神社社殿	6		吉澤寅之助筆伝桃命名由来の扇面	5		道普請寄進碑	6		大師古民謡	1
	絹本着色釈迦三尊十六善神像	1		川崎大師平間寺海苔養殖紀功の碑	5		川崎市初代市長石井泰助大人頌徳碑	6		若宮八幡宮囃子	1
	あのかち式ポンプ	1		川崎大師平間寺九橋の碑	5		川崎大師平間寺の宝篋印塔及び納入品	6		川崎稲毛神社山王囃子	1
	芭蕉「麦の穂を」の句碑	2		川崎大師平間寺種梨遺功碑	5		若宮八幡宮神楽	1		川崎古式消防	1

区	件 名	回	区	件 名	回	区	件 名	回	区	件 名	回
川崎区	藤崎の石造願掛地藏尊像	2	中原区	大戸神社石造八臂馬頭観音像塔	2	宮前区	溝口神社長寿けやき	2	多摩区	五反田節	1
	大島八幡神社の狛犬	5		大戸神社扁額	2		お化け灯籠	1		宿河原囃子	1
	塩釜神社の狛犬	5		大戸神社石造天満宮塔	2		芭蕉「春の夜は」の句碑	2		登戸台和地区の歳の神	2
	水神社の石造道祖神	5		柳原の地藏尊像群	3		影向寺影向石碑	4		長尾神社射的祭（マトー）	4
	田町稲荷神社の手水石	5		下小田中の齋の神の碑	4		木造女神坐像	5		蚕影山祠堂関係資料	1
	若宮八幡宮の力石	6		新城安養寺の力石	5		木造如来坐像	5		中野島稲荷神社手水鉢	1
	川崎大師平間寺の弘法大師一千御忌供養塔	6		曲持連中の道具	6		影向寺木造十王坐像	7		中野島稲荷神社扁額（明和9年銘）	1
	石観音の霊亀石	7		下小田中安楽寺周辺の念仏講用具	7		影向寺木造冥界諸像	7		中野島稲荷神社扁額（安政5年銘）	1
	石観音の十万人講供養塔	7		西明寺の弘法大師供養塔	7		宮崎の陸軍軍用地境界標	7		中野島稲荷神社厨子	2
	千蔵寺の石造大日如来坐像	7		西明寺の木食観正碑	7		馬絹の花供養塔	7		中野島稲荷神社木造白狐像	2
	了延庵の庚申塔	7	高津区	橋樹神社社殿	1		有馬大正踊り八木節	1		堰稲荷神社扁額	3
	中島八幡神社の庚申塔	7		新作八幡宮石柱	1		土橋万作踊り	1		榎戸の庚申塔	3
	中島延命地藏尊の石造阿弥陀如来像	7		氷川神社祠	2		白幡八幡大神平囃子	1		長尾神社の手水鉢	4
	伝十郎桃	1		溝口神社水屋（手水舎）	2		「神功皇后と武内宿禰」の家型大絵馬	1		登戸光明院の六字名号塔群	4
	長十郎梨	2		溝口神社水神宮	2		等覚院手洗鉢	1		妙楽寺の石造十王像	6
	稲毛神社御神木大銀杏	4		神明神社祠	2		影向寺手水石	2		玉林寺の石幢	7
幸区	木造地藏菩薩坐像	1		新作八幡宮拝殿	2		影向寺力石	2		旧陸軍登戸研究所の遺構群	1
	銅造千手観音坐像懸仏	1		千年神社社務所	2		王禅寺道の道標（庚申塔）	4		五反田川の鮎穴群	2
	記念碑「樋詰」	2		能満寺本堂	3		王禅寺道の馬頭観音（道標）	4		オン沼切通し多摩ローマ層模式露頭剥ぎ取り標本	6
	陸軍第101連隊（通称東部62部隊）関係名簿	2		下作延神明神社幟支柱	3		馬絹平台の庚申塔	5		大師穴	6
	陸軍東部62部隊兵士のハガキ	5		龍臺寺本堂	7	多摩区	泉福寺の手水石	7	麻生区	金神社木造大黒天像	2
	御幸中学校三樹苑記念碑	4		能満寺木造釈迦涅槃像	7		影向寺乳イチョウ	3		岡上神社本殿の彫刻	6
	戸手中部囃子	1		上田文書	1		堰稲荷神社社殿	1		旧剣神社の石造不動明王坐像	6
	秩父順禮供養塔（道標）	1		津田山碑	2		中野島稲荷神社祠（文化6年銘）	1		志村家文書	1
	石造本田地蔵尊像	2		津田興二氏頌徳碑	2		中野島稲荷神社祠（嘉永6年銘）	1		宮野家文書	2
	御嶽神社道標	2		陸軍軍用地境界標	2		中野島稲荷神社幟支柱	1		梶家文書	2
	古川神明神社庚申塔	2		杉山神社追悼碑	2		堰稲荷神社稲荷社祠	2		鳥海家文書	2
	大清水権現	6		千年神社棟札	2		堰稲荷神社神明社祠	2		捨馬禁止の高札	2
	塚越古墳	2		下作延神明神社大震災記念額	3		堰稲荷神社鳥居	2		徒党禁止の高札	2
	加瀬台古墳群第3号墳	6		杉山神社紀元二千六百年記念樹碑	3		中野島稲荷神社社殿	2		岡上神社の棟札	6
中原区	大戸神社社殿	1		千年神社征清従軍記念碑	3		長尾神社石祠	3		岡上神社覆殿内の水盤	6
	ピンスケ大戸稲荷社	1		杉山神社向拝敷石土留碑	3		旧小泉橋の桁と親柱	3		旧神谷齒科	4
	神地神明神社社殿	1		橋樹神社日本武の松の歌碑	4		菅町会の火の見及び半鐘	6		岡上神社拝殿及び覆殿	6
	伝・八百八橋の橋板	1		橋樹神社橋比売命神廟の碑	4		木造蛙彫刻	1		上・下地区のどんと焼き	4
	神地神明神社鳥居	2		千年神社「敬し」の句碑	5		堰稲荷神社半鐘	2		谷戸地区のどんと焼き	4
	泉澤寺鐘楼	2		龍臺寺の石灯籠	7		堰稲荷神社鬼瓦	3		川井田地区のどんと焼き	4
	新城小学校の伝・八百八橋の橋板	6		諏訪神社祭囃子	1		妙楽寺鉦鼓	7		麻生不動院のだるま市	5
	紙本着色地獄絵図附紙本着色九相図	1		宇奈根地区の稲荷講	2		中野島稲荷神社御嶽山代参日待連名簿	3		向原の石造弁財天像	1
	絹本着色仏涅槃図	1		下作囃子連	2		菅村絵図	3		琴平神社手水舎	2
	原家文書	1		下作延神明神社手水鉢	1		算額	1		琴平神社本殿狛犬	2
	安楽寺文書	2		末長杉山神社扁額（杉山大明神）	1		堰稲荷神社鑿井記念碑	2		鳥海家大工道具	2
	内藤家文書	3		末長杉山神社扁額（神明宮）	1		堰稲荷神社架橋記念碑	2		香林寺最勝散版木	2
	大戸神社石板断片	2		末長杉山神社手水鉢	1		中野島稲荷神社棟札	2		西光寺の石薬師	4
	石碑「平和の礎」	1		末長杉山神社力石	1		畑権助辞世碑	3		川井田の辻のセノカミ（賽の神）	4
	陸軍軍用地境界標	1		氷川神社扁額	2		旧生田出張所明治三十七八年戦役記念碑	3		川井田の辻の地藏菩薩	4
	大戸神社石造11社合祀記念碑	2		神明神社幟（奉納五良大権現）	2		旧生田出張所日露戦役陣亡軍人忠魂碑	3		川井田の辻の巡拝塔	4
	海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊境界標柱	2		神明神社幟（奉獻神明宮）	2		旧生田出張所慰霊碑	3		川井田の辻の馬頭観音	4
	本村稲荷神社祠	4		新作八幡宮手水鉢	2		中野島稲荷神社明治廿七八年戦役記念碑	3		川井田の畑の巡拝塔	4
	安楽寺半鐘	7		千年神社手水鉢	2		中野島稲荷神社二榎樹奉納碑	3		川井田の畑の庚申塔	4
	ひとみ座乙女文楽	1		杉山神社伊勢太々講記念奉納碑	3		中野島稲荷神社社献魂碑	3		本村橋の袂の馬頭観音	4
	下小田中菊花会	1		杉山神社伊勢太々奉奏記念碑	3		堰稲荷神社日露戦役記念碑	3		谷戸の辻の地藏念仏供養塔	4
	中丸子神明大神のおびしゃ	1		千年神社石坂供養碑	3		生田緑地D51形蒸気機関車	3		谷戸の辻の庚申塔	4
	大戸神社祭囃子	1		橋樹神社の狛犬	4		大典記念修路之碑	4		谷戸の辻の光明真言供養塔	4
	宮内祭囃子	1		新作八幡宮の幟	5		長尾神社射的祭儀式記録	4		谷戸の辻の巡礼塔	4
	神地祭囃子	1		末長杉山神社の狛犬	5		鯉山先生之碑	6		千代ヶ丘小学校五色八重咲散椿	5
	大戸神社狛犬	1		新作八幡宮の祭礼記録	5		子之神橋の橋名板	7		岡上神社覆殿内の狛犬	6
	大戸神社宮殿入木造僧形立像	2		細王舎製足踏み脱穀機新明王号	7		志良以先生頌徳碑	7		岡上神社の手水鉢	6
	大戸神社石造八臂弁財天像塔	2		橋消防組第四部の消防ポンプ車及び装備類	7		登戸敬神講	1		岡上神社の水天宮碑・金精大明神碑	6
	大戸神社庚申塔	2		旧平瀬川の流路跡と中原堰の遺構	2		菅祝唄	1		岡上神社の庚申塔	6
	大戸神社石造堅牢地神像塔	2		海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊地下壕	2		登戸古民謡	1		岡上神社の堅牢地神塔	6

有形文化財	無形文化財	無形民俗文化財	有形民俗文化財	記念物
-------	-------	---------	---------	-----

川崎市地域文化財顕彰制度とは

文化財は、歴史の中で自然環境や社会、生活を反映してはぐくまれ継承されてきた地域の財産です。文化財の中で特に重要なものは国や県、市が指定・登録等を行い、保護しています。川崎市内では、現在170件の指定・登録等文化財の保存と活用に努めています。

一方で、指定・登録等をされていない文化財の多くは、十分に把握されておらず、知らないうちに失われたり、壊れたりする危機に瀕しています。

川崎市地域文化財顕彰制度は、地域に根ざした豊富な文化財を幅広く顕彰・記録することで、地域で守られ、伝えられてきた文化財に光をあて、多くの人々にその価値を伝えていくことを目指しています。

＜川崎市域の文化財＞

法令・条例等で保護

国指定文化財	17件
県指定文化財	27件
市指定文化財	117件
国登録文化財	12件
県選択無形民俗文化財	1件

令和7(2025)年3月1日現在

その他、指定・登録等されていない多くの未指定文化財があります。

対象となる文化財

地域文化財の候補となるものは、川崎市域の人と自然、人と人のかかわりの中で生まれ、衣食住等の人々の生活の移り変わりが分かるものや、川崎市の自然・地形・街道の街並みなど、文化財の周辺環境も含まれます。

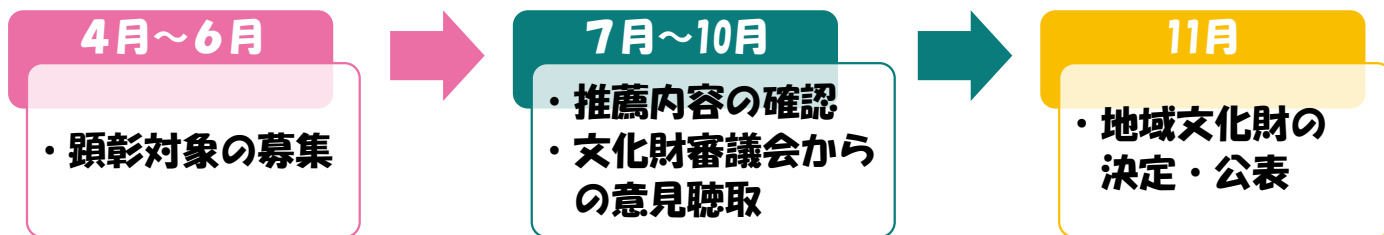
文化財保護法や県・市の文化財保護条例で指定・登録等され、保護の手段が講じられている文化財は除きます。また、対象となる文化財は、概ね50年を経たものとし（記念物や文化的景観以外）。

※川崎市の指定等文化財については、川崎市教育委員会事務局文化財課ウェブサイトなどを御覧ください。

地域文化財顕彰制度と文化財保護法・条例に基づく指定等の制度との違い

制度の区分	根拠法令等	指定等の要件・目的	制約等	補助・助成
国指定文化財	文化財保護法	国民にとって重要な文化財を指定し保護活用を図る。	現状変更や修理、輸出の許可を要する。	保存修理や防災への経費補助、買い上げ、税制上の支援
県指定文化財	神奈川県文化財保護条例	県民にとって重要な文化財を指定し保護活用を図る。	現状変更、修理等に制限	保存修理や防災への経費補助
市指定文化財	川崎市文化財保護条例	市民にとって重要な文化財を指定し保護活用を図る。		
国登録文化財	文化財保護法	国民にとって保存及び活用のための措置が特に必要とされるものについて緩やかな保護措置を講じる。	外観の変更制限 現状変更等の届出	保存修理のための設計管理へ経済補助、税制上の支援
県選択文化財	神奈川県文化財保護条例	無形文化財及び無形民俗文化財のうち特に必要のあるものを選択し、記録作成、保存、公開する。	保持者の氏名等の変更の届出	公開、記録作成、保存、公開への経費補助
地域文化財	川崎市地域文化財顕彰制度要綱	法・条例による指定等を受けていないものを顕彰・記録することによって活用を図る。	現状変更等の届出 ※行為の制限はありません。	金銭的な支援はありません。

地域文化財の決定方法



地域文化財として顕彰されると…

○川崎市ウェブサイトや普及パンフレットなどにより周知を行います。

※ただし、文化財の公開については、所有者の希望により非公開とすることもあります。

○管理や現状変更などへの専門家による指導助言を受けることができます。

※補助金などの金銭的な助成はありませんが、顕彰・周知により地域文化財に光をあてるとともに、調査や記録、所有者・管理者への積極的な助言などにより地域文化財の保護活用を図ります。

※所在変更や現状変更などに対する制限はありません（届出のみお願いします）。

地域文化財の推薦方法

〔推薦期間〕 令和7(2025)年4月1日～6月30日【消印有効】

※推薦団体から文化財課への推薦書などの提出期間

〔推薦できる方〕

○対象文化財の保存や活用にかかわりのある市民団体

※文化財の所有者を含め、**個人からの推薦は受け付けません**が、個人所有のもので地域の歴史を知るために地域文化財としてふさわしいものがありましたら、教育委員会事務局文化財課へ御相談ください。

※地域の郷土史会、ボランティア団体、町内会などで法人格のない団体でも推薦できます。

〔推薦に必要な書類〕

1 川崎市地域文化財推薦書（第1号様式）

※5件以内を目安に御推薦ください。多数の文化財の推薦をお考えの場合は、文化財課に御相談ください。

2 推薦する文化財の詳細が分かる資料

（写真や位置図、概要、沿革や由来に関する資料など）

3 推薦団体の規約や活動状況に関する資料

4 文化財の所有者の同意書（第2号様式）

※推薦にあたっては、**原則として所有者の同意が必要です**（推薦者が所有している場合は必要ありません）。

※寺社の文化財を推薦する場合は、寺社の代表の方（代表役員・住職・宮司など）の同意が必要です。

※第1号様式・第2号様式は川崎市地域文化財顕彰制度ウェブサイトからダウンロードできます。

〔推薦書など提出方法〕

次の提出先あてに郵送、お持ちいただくか、ロゴフォームで御提出ください。

〔提出先・お問合せ先〕

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1

川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課 あて

電話 044-200-3305 E-mail: 88bunka@city.kawasaki.jp

オンライン（ロゴフォーム）手続きについて

<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000140909.html> ⇒



第8回 川崎市地域文化財 募集案内

～川崎市地域文化財顕彰^{けんしょう}制度～

地域の宝を発掘しよう!!

身近な文化財がたくさん眠っています。



近所の
お祭りは？

学校の
記念碑は？

お地蔵さん
があるよ！

川崎市文化財保護推進キャラクター シッシー君

〔推薦期限〕 ※推薦団体から文化財課への推薦書などの提出期限

令和7（2025）年6月30日（月）【消印有効】

〔推薦に必要な書類〕

- ①推薦書（第1号様式）
- ②推薦する文化財の詳細がわかる資料
（写真や位置図、概要、沿革や由来に関する資料など）
- ③推薦団体の規約や活動状況に関する資料
- ④同意書（第2号様式）

※詳しい手続きなどは、次のページをご覧ください。

令和7（2025）年3月

川崎市教育委員会事務局文化財課